

## デジタル教材（電子化大学年史資料）による大学授業の展開の試み

大阪教育大学附属図書館

system2@bur.osaka-kyoiku.ac.jp

### 1 経緯

教員養成課程 学校教育講座の二井仁美教員より次のような提案があった。

「近代日本教育史を専門とする二井は、教育史演習の授業において、一次資料の扱い方を含めた教育史研究の方法を獲得する機会を学生に与えると共に、学生達自身の先輩にあたる本学の歴史を学ぶことで、教師教育の一環に資するものとしたいと希望している。さらに、学生達の学習の成果を公開し、本学の歴史資料を紹介することで、通常は貴重文書として目に触れることの少ない本学の史資料を、他の学生に繋ぐ契機としたいと考えている。

については、今年度は、図書館所蔵の師範学校資料の概要を理解したうえで、学生が翻刻作業を行う予定であり、その成果を電子化した師範学校資料と共に公開したい。」

図書館では多くの大学年史資料等を所蔵しているが、整理や電子化がほとんど進んでおらず課題となっていたことから、所蔵資料を電子化した上で授業教材として活用し、電子化資料と教育成果をリポジトリで公開することを目標に取り組みを始めることになった。

### 2 今年度の状況

図書館所蔵の大学年史資料群の中の師範学校関係の資料について、二井教員と学生が予備調査を行い、授業で用いる資料を選出した。

選出した14点のうち、『週番日誌：尼子小隊』が今年度の翻刻対象資料とされた。比較的読みやすい文書であるが、本学所蔵の師範学校資料を用いた初めての授業の試みということもあり、受講学生の希望により、戦時下の師範学校生の生活の様子を伝える本資料の翻刻作業とその検討が授業で行われた。加えて、当該資料の史料性格を理解するためにも、同時代の周辺資料に目を通す必要があり、教官会議や生徒課日誌等の資料の電子化が行われた。

当初は、師範学校の授業や行事等のテーマ別に写真を添えた解説をリポジトリで公開紹介することも検討されたが、今年度は、『週番日誌：尼子小隊』の翻刻に焦点をあてることとした。学生達は、時代の息づかいの伝わる一次資料に触れることで、教育史研究の面白さと一次資料の扱い方を学びつつ、頁毎に筆跡の異なる週番日誌を丹念に翻刻しつつ読むことにより、戦時下の師範学校生の生活について理解を深め、戦争と教育を考える契機を得ることができたという。

また、そのほかの13点と女子師範学校で使われていた教科書等30点、女子師範学校時代

の写真数点を授業の参考資料としてあわせて電子化した。

### 3 今後の予定

- ・ 翻刻資料（教育成果物）と師範学校資料の公開方法について検討し、リポジトリで公開する。
- ・ 電子化した教科書・アルバムの写真の公開方法を検討し、リポジトリで公開する。
- ・ 引き続き本学所蔵資料を電子化し、授業での活用と教育成果の公開の可能性を模索する。

### 4 今年度電子化資料

- ・ 教官会議録（昭和 18 年度～23 年度）各 1 部
- ・ 生徒課日誌（大阪府女子師範学校生徒課）昭和 20 年
- ・ 沿革史（大阪第一師範学校）
- ・ 沿革大要：女子部
- ・ 大阪府師範学校沿革史略
- ・ 学校沿革史（大阪府天王寺師範学校）
- ・ 沿革簿（大阪府尋常師範学校）
- ・ 大阪府師範学校沿革史略原稿（大阪府師範学校）
- ・ 女子師範学校用教科書、師範学校用教科書等 30 点
- ・ 女子師範学校アルバム（昭和 14 年～16 年）より抜粋

## 資料（シラバス）

授業コード	536091	キャンパス	柏原キャンパス（第一部）
授業科目名	教育史演習 I	単位数	2
担当教員		二井 仁美	
曜日時限	前期（金曜 3 限）、 後期（金曜 3 限）	開講期	2008 年度 前期～後期
キーワード	近代日本教育史、師 範学校、史料保存	授業形態	講義
授業の到達目標		<p>(1) 大阪教育大学が所蔵する師範学校史料に触れ、教育史研究の面白さを知る。</p> <p>(2) 学校・児童福祉施設等が所蔵する資料を保存することの意義と方法を知る。</p> <p>(3) 師範学校に関する一次史料の分析により教師の営みに関する新たな歴史像を描く営みに参画する。</p>	
授業の概要		<p>師範学校史研究に関する基本的文献を検討しながら、大阪教育大学附属図書館が所蔵する師範学校史料の調査を実施し、資料の検討に基づくディスカッションにより進める。</p>	
授業の計画		<p>第 1 回オリエンテーション 各自の研究関心とゼミの課題 － 文献リストの作成と先行研究の収集方法－</p> <p>第 2 回～第 6 回 先行研究の検討 師範学校制度史研究</p> <p>第 7 回～第 8 回 先行研究の検討 大阪府師範学校の歴史</p> <p>第 9 回 先行研究の検討 大阪学芸大学・大阪教育大学の歴史</p> <p>第 10 回 一次史料の利用と保存について 史料調査の計画と準備</p> <p>第 11 回 史料所在状況に関する概要調査</p> <p>第 12 回 史料所在状況に関する概要調査報告</p> <p>第 13 回 史料調査の計画</p> <p>第 14 回～第 15 回 史料調査の実施</p>	
成績評価の方法		<p>評価は、フィールドワークを含めた授業への参加状況と提出物をもとに総合的に判断する。</p>	
テキスト		<p>授業時に資料を配付する。</p>	
参考文献		<p>逸見勝亮『師範学校制度史研究』北海道大学出版会、 国立教育研究所編『日本近代教育百年史』教育研究振興会</p>	
問い合わせ先 e-mail		<p>nidog@cc.osaka-kyoiku.ac.jp</p>	
オフィスアワー		<p>前期 月曜 11:30-12:50 後期 火曜 11:30-12:50</p>	

# 学内の教育研究成果を 世界に発信してみませんか。

—『大阪教育大学リポジトリ』から—

「大阪教育大学リポジトリ」とは

学内で生産された教育研究成果物を収集・保存し、インターネットを通じて学内外へ公開するシステムです。

<http://ir.lib.osaka-kyoiku.ac.jp/dspace/>

リポジトリ活用の  
メリット

研究者にとって・・・

- より多くのひとに読んでもらえる新たなルートです！
- 書誌データから、本文まで読めます！
- 論文の被引用率UPが期待できます！
- 教育研究成果物を確実に保存し継承します！

大学にとって・・・

- 教育研究成果を永続的に保存・公開できます！
- 社会への還元・貢献・説明責任遂行となります！
- 本学で学びたい人への情報提供となります！
- 大学の特色をアピールできます！

学術雑誌  
掲載論文

紀要論文

会議資料

科研報告書  
学術報告書

登載できる研究成果物

教材

学位論文

図書

お問い合わせ・送付先： 附属図書館（学務部学術情報課）

情報システム係（谷口・上野）

TEL： 072-978-3781 FAX： 072-978-3803

e-mail： [system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp)

## 『大阪教育大学リポジトリ』とは？

学内のみなさまが生産された、論文等の教育研究成果を保存し、インターネットを通じて、誰でも読めるように学内外に全文を公開するシステムです。Google や Google Scholar 等の検索エンジンや、JuNii(国立情報学研究所)・OAIster(世界のリポジリー一括検索)等のデータベースで一元的に検索できるようになるため、論文が読まれるチャンスが増えます。また、1コンテンツごとに唯一・永続的な URL が与えられ、みなさまの教育研究成果を集積していく電子書庫としての役割も持っています。

※2008年12月現在、世界では約1200、日本では80以上の機関リポジトリが公開され、その数は増えています。

## 「大阪教育大学リポジトリ」掲載の流れ



### 【著作権問題への対処】

#### ●著作権が著者(共著者)にある場合

著者の意志により公開できます。(共著者の場合は、共著者の許諾も必要です)

#### ●著作権が出版社・学協会にある場合

ご提供いただいたコンテンツについて、附属図書館にて著作権許諾状況の確認をおこないます。

出版社・学協会の許諾があれば公開できます。世界の主要学術出版社・学会の90%以上のジャーナルが、著者自身のHPや所属機関サーバから著作を公開すること(セルフ・アーカイブ)を認めています。ただし、セルフ・アーカイブを認めているジャーナルでも、そのほとんどが著者最終稿に限るとしています。著者最終稿とは、出版社のレイアウトやロゴが入る前の原稿のことで、著者の手元に最終的に残る原稿のことです。著者最終稿のご提出とご協力をお願いいたします。

※出版社版の公開を認めている出版社・学会もあります。附属図書館情報システム係までご相談ください。

### 【コンテンツ(教育研究成果)の送付方法】 送り先：附属図書館(学術情報課)情報システム係

#### ●コンテンツが電子化されている場合(PDF・Word・一太郎 etc.)

電子メールの添付ファイルにてお送りください。→[system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp)

※CD-RやDVD-Rの場合、学内便にてお送りいただくか、ご持参ください。または、ご連絡ください、受取にお伺いします。

#### ●電子化されていない場合、紙媒体を学内便でお送りいただくか、ご持参ください。または、ご連絡ください、受取にお伺いします。

お問い合わせ・送付先： 附属図書館(学務部学術情報課)  
情報システム係(谷口・上野)

TEL: 072-978-3781 FAX: 072-978-3803

e-mail: [system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp](mailto:system2@lib.osaka-kyoiku.ac.jp)